【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第４区分
【発行日】平成25年8月1日(2013.8.1)

【公開番号】特開2012-175717(P2012-175717A)
【公開日】平成24年9月10日(2012.9.10)
【年通号数】公開・登録公報2012-036
【出願番号】特願2011-31899(P2011-31899)
【国際特許分類】
Ｈ０２Ｊ　13/00　　(2006.01)
Ｇ０１Ｒ　11/02　　(2006.01)
Ｈ０４Ｂ　 3/54　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０２Ｊ　13/00　　Ｅ
Ｇ０１Ｒ　11/02　　Ｆ
Ｈ０４Ｂ　 3/54

【手続補正書】
【提出日】平成25年6月14日(2013.6.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
電力線に接続された負荷の消費する電力量を計測する電力計測部と、前記電力計測部に電源を供給する電源部とを備えた電力量計部、
前記電力線を伝送路として通信を行なう電力線通信部、
前記電力線通信部の信号を電源側と負荷側とに分離するブロッキングフィルタ部、
前記電力量計部に組み込まれ、前記電源部のノイズを除去するフィルタ部、
を備えたことを特徴とする電力量計。
【請求項２】
前記ブロッキングフィルタ部は、前記ブロッキングフィルタ部の電源側のインピーダンスを高くする電源側高インピーダンス部と、前記負荷側のインピーダンスを高くする負荷側高インピーダンス部とを具備する、
ことを特徴とする請求項１に記載の電力量計。
【請求項３】
前記ブロッキングフィルタ部は、前記電力線の２つの相の間にのみ接続されている、
ことを特徴とする請求項１または２に記載の電力量計。
【請求項４】
前記ブロッキングフィルタ部は、前記ブロッキングフィルタ部の負荷側に接続された電力線通信装置の出力をＺ、前記負荷側に接続された電力線通信装置から前記ブロッキングフィルタ部までの減衰量をＡ、前記電力線通信部の最低受信感度をＸ、Ｓ／ＮをＹとしたとき、
Ｌ≧Ｚ-Ａ-Ｘ＋Ｙ
を満足する減衰量Ｌを備えている、
ことを特徴とする請求項１乃至３のうちの何れか一項に記載の電力量計。
【請求項５】
前記ブロッキングフィルタ部は、異なる減衰量を有する別のブロッキングフィルタと交

換可能に構成されている、
ことを特徴とする請求項１乃至３のうちの何れか一項に記載の電力量計。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
この発明による電力量計は、電力線に接続された負荷の消費する電力量を計測する電力計測部と、前記電力計測部に電源を供給する電源部とを備えた電力量計部、前記電力線を伝送路として通信を行なう電力線通信部、前記電力線通信部の信号を電源側と負荷側とに分離するブロッキングフィルタ部、前記電力量計部に組み込まれ、前記電源部のノイズを除去するフィルタ部を備えたことを特徴とするものである。